

教科	地歴科	科目(単位数)	地理総合(2)	学年	3年	類型	普通科
学習目標	グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指す。特に現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理の見方・考え方を習得することをねらいとする。また、主体的に社会の形成に参画する態度が身に付くようにする。						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月～5月	・地域統合が人々の生活や産業に与える影響－ヨーロッパ	・国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について理解している。 ・地域で異なる食文化と農業、EUの共通農業政策の影響と課題について理解している。 ・EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について理解している。	・国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地域で異なる食文化と農業、EUの共通農業政策の影響と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 5月～6月	1節 複雑に絡み合う地球的課題 1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて 2節 地球環境問題 1 多様な地球環境問題 2 熱帯林の破壊への対策 3 地球温暖化への対策	・世界各地で見られる地球環境問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	・世界各地で見られる地球環境問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 6月～7月	3節 資源・エネルギー問題 1 世界のエネルギー・鉱産資源 2 エネルギー利用の現状と課題 3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み 4節 人口問題 1 世界の人口 2 発展途上国と先進国の人口問題 3 地域で異なる人口問題への取り組み	・世界各地で見られる資源・エネルギー問題、人口問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	・世界各地で見られる資源・エネルギー問題、人口問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 9月～10月	5節 食糧問題 1 飢餓と飽食 2 地域で異なる食料問題への取り組み	・世界各地で見られる食料問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	・世界各地で見られる食料問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 10月～11月	6節 都市・居住問題 1 世界の都市の発展 2 発展途上国と先進国の都市・居住問題 3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 11月～12月	第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 2節 地震・津波と防災 1 地震・津波による災害 2 地震・津波の被災地の取り組み	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 1月～2月	3節 火山災害と防災 1 火山の恵みと災害 2 火山と共生する地域の取り組み 4節 気象災害と防災 1 さまざまな気象災害 2 気象災害への取り組み 5節 自然災害への備え 1 減災の取り組み 2 被災地への支援	・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 2月～3月	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望 1 地理的な課題と地域調査 2 現地調査の準備 3 現地調査の実施 4 調査の分析と発表	・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。	・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
使用教材 (教科書・副教材)	教科書:『高等学校新地理総合』(帝国書院) 副教材:『新詳高等地図』(帝国書院)						
学習方法	・各単位時間ごとの学習プリを用いた作業学習(講義、発問) ・各単位時間ごとにまとめた「日々の課題」で確認						
評価について	各学期ごとの定期考査と平常点 ・定期考査による評価(8割)・・・【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点別に作問・採点する。 ・教科の評価基準による平常点(2割)・・・授業取組姿勢・態度、課題取組状況、発問に対し、自らの考えを適切に表現しているか。						